イオンクレジットサービス株式会社

木を植えています

私たちはイオングループです

本紙は非木材紙・ケナフを使用しています

株主の皆さまへ

中間事業報告書

2000年2月21日～2000年8月20日

第20期

イオンクレジットサービス株式会社

「お客さま第一の実現」

代表取締役会長
浅野和郎

代表取締役社長
森　美樹

株主の皆さまへ

株主の皆さまには、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

当社の第２０期中間事業報告書をお届けするにあたりまして、日頃の株主の皆さまの暖かいご支援に、心より厚く御礼申し上げます。

当社の属するクレジットカード業界は、異業種の新規参入や外資系企業の進出により大競争の時代を迎え、また、インフォメーションテクノロジーの進展により、事業環境が変革し大きなビジネスチャンスが到来しております。

このような環境のもと、当社は、「お客さまの未来と信用を活かす生活応援企業」を目指して

1. 集中と分散による企業競争力の強化
2. カード周辺業務の事業化
3. 海外事業の推進
4. ｅコマース事業の推進
5. 資金調達力の強化
6. 社会貢献活動、環境保全活動の推進

に取り組んでまいりました。

その結果として当中間期も順調に業容を拡大することができております。

今後も、お客さまのニーズにお応えした付加価値の高いサービスの提供に努めると共に、さまざまな分野での技術革新や規制緩和に対応し、更なる業容拡大を目指してまいります。

株主の皆さまにおかれましては、何卒変わらぬご支援、ご指導賜りますようお願い申し上げます。

2000年10月

木を植えています。
私たちはイオングループです。

私たちは今、さまざまな木を植えています。
「イオンふるさとの森づくり」を通して、
文字どおり木を植えています。
ライフスタイルの変化に対応した新たな事業展開を通して、
可能性という木を植えています。
環境保全や文化振興などの社会貢献活動を通して、
ふれあいという木を植えています。
そんないろんな夢のなる木を植え、
じっくり大きく育てていきたい、
イオングループです。

目　　次

株主の皆さまへ …… 1
中間決算ハイライト …… 3
トピックス …… 5
ワールド トピックス …… 9
カード周辺業務の事業化 …… 11
環境保全・社会貢献活動 …… 12
中間財務諸表の概要（連結） …… 13
決算データ …… 14
中間財務諸表の概要（単独） …… 16
株式の状況 …… 17
会社データ・株主メモ …… 18

中間決算ハイライト

連結決算

営業収益	337億18百万円	12.8%増
経常利益	86億39百万円	30.9%増
中間利益	46億78百万円	44.3%増

当中間期はカード自動発券システムの構築や、新技術に対する設備投資など、将来に向けての積極的な施策を行いました。また、更なる会員拡大や営業ネットワークの充実などの取り組みに努めたことにより関連会社ともに増収増益を継続して達成することができました。

単独決算

営業収益	258億4百万円	15.0%増
経常利益	66億73百万円	30.3%増
中間利益	38億80百万円	44.6%増

グローバルに活躍する金融サービス企業を目指して

イオンクレジットサービスは「お客さまの未来と信用を活かす生活応援企業」を経営理念に掲げ、金融サービスの提供を通じて、便利で豊かな暮らしに貢献できるよう、積極的な事業展開を行っております。
現在、eコマース事業を含むクレジットカード周辺事業を中心にその業容を飛躍的に拡大させています。また、1987年にいち早く海外に事業を展開。香港での大きな成功をステップに、タイ、マレーシア、台湾などアジア各国でめざましい成果を上げています。さらに、国内に設立した子会社は、保険代理事業やサービサー事業、ファイナンス事業などに取り組み順調に業容拡大をしております。
今後もお客さまの信頼と期待に応えつづけ、国際社会からより一層信頼される企業を目指してまいります。

TOPICS 20期 お客さまサービス向上のた め組織の集中と分散を行っています。

カード発行業務の集中化・自動化体制を確立

申込み用紙　モバイル端末　インターネット

OCR化

審査センター

●オートスコアリングシステム
●プレディクティブダイアラー

全国審査部門の集中による効率化

カードプロセスセンター

●カード作成 ●封入 ●封かん ●発送

発行時間短縮／コスト削減

お客様へ

お客さまサービスの一層の強化と業務処理のスピード化、ローコストオペレーションをめざし、業務の集中化に取り組んでおります。

営業所増設による営業力の強化

より密接なお客様へのサービスや、加盟店開発、提携カード開拓などの営業を強化するため、新たに営業所を10ヶ所開設し、全国50ヶ所に拡大いたしました。このような取り組みにより、上期の会員募集の実績は60万人と業界でもトップクラスの獲得が達成できました。

ＣＤネットワークの拡大と機能の強化

自社ＣＤネットワークを1,173台に増設し、24時間キャッシングサービスの強化に取り組むとともに、郵便貯金引出しサービスの拡大に加え、三和銀行のキャッシュカード引出しサービスを開始いたしました。

キャッシュカード一体型カードを発行

お客さまの利便性向上のため、昨年発行したキャッシュカード一体型カードを荘内銀行に続き鳥取銀行、三重銀行と開始いたしました。また、ＥＴＣ（高速道路自動料金収受システム）カードや郵便貯金ＩＣクレジットカードなど次世代カードについても着実に取り組んでおります。

社　債　発　行

2000年7月13日付で当社では初めてとなる社債（7年債）を100億円発行いたしました。市場金利情勢に左右されない、安定低利な資金の調達をするために、今後も銀行などの金融機関から調達する間接調達だけではなく社債、CP、債権流動化などの直接調達をバランスよく取り入れ、財務体質の強化と調達手段の多様化を進めてまいります。

財務体質の強化により業界でも高い長期格付けを取得

当社は、これまでの財務体質の強化により、日本格付研究所（ＪＣＲ）では「Ａ＋」、格付投資情報センター（Ｒ＆Ｉ）では「Ａ」を取得できました。

A+ JCR　A R&I

くらしの総合情報サイト「イオンマーケット」誕生

http://www.aeonmarket.com

トップページ

顧客の視点に立って、「日常生活に役立つ情報」「安全便利なショッピング」「クレジットカード・ローン・保険などの金融サービス」を提供するポータルサイトとして「イオンマーケット」を本年７月よりスタートいたしました。

保険マーケット

お客さまの自動車保険をもっとおトクに！インターネットでご入力いただいた情報をもとに、最大８社の提携保険会社の比較見積もり結果をｅメールでご回答いたします。

イオンネットブランチ

カード会員向けのサービスとしてご利用明細照会サービス、住所や電話番号等の変更登録などの受付、また、キャンペーン情報やカード特典、エリアトピックスなど情報も満載しております。

ショッピングマーケット

保険マーケット

カード＆ローンマーケット

イオンネットブランチ

ショッピングマーケット

日常生活を豊かにするお奨めの加盟店をご紹介し、お買い得商品や、個性的な商品が購入できます。
より安全に、より便利にお買い物いただくために、総合カード決済サービス「イオンレジ」を開発導入いたしました。一度クレジットカード情報を登録するだけで、クレジットカード番号などを入力せずにいつでも利用ができます。

カード＆ローンマーケット

カード＆ローンマーケットでは、最短30分で審査、翌日お届けの「クレジットカード」、最短申込み当日振込みの「プチローン」、又、富士銀行、三和銀行、荘内銀行、スルガ銀行、八千代銀行、住友銀行との提携により、お客さまのさまざまなニーズに応えるローン商品を提供いたします。

AEON NET

カード会員向けのサービスとしてNTT-MEと提携し、安価で良質なインターネット接続サービスを提供しております。

携帯電話でのサービスもより充実

携帯電話によるサービスとしてNTTドコモが提供するiモードでご利用いただける、ご利用明細の照会や融資の申し込みサービスを、新たにJ-PHONEが提供するJ-SKY Web、au・ツーカーが提供するEZwebと提携しご利用いただけるようにいたしました。

TOPICS WORLD 東南アジア各国へネットワークを拡大しています。

香港 AEON信貸財務(亞洲)有限公司

「ホンポーレストランカード」や「香港ネットカード」といった新規提携カードの発行を開始し、既存の提携カードとあわせて、5万人の新規会員を獲得することができました。また、オンラインショッピング推進のため「AeON-SPOT」を開発。インターネットで商品の注文を行い、当社が展開するCD機で決済を行ったり、マルチメディア端末で商品の注文・決済を行う、新たな商品販売サービスとしてスタートいたしました。

中国 永旺資訊服務（深圳）有限公司

2000年5月中国深圳に、コールセンター業務を行う現地法人を設立いたしました。
当社の香港現地法人の業務受諾を皮切りに外部企業のバックオフィス業務の受託に着実に取り組んでまいります。

タイ AEON THANA SINSAP(THAILAND)CO.,LTD. ACS CAPITAL CORPORATION LTD.

新規提携カードとして「ツタヤカード」「ベルメゾンカード」を発行し、既存の提携カードとあわせて6種類の提携カードを発行し累計会員数も18万人と拡大いたしました。また、CD機を累計31台に増設し、カードでのキャッシングの利便性を向上いたしました。これらの努力によりさらに業容を拡大することが出来ました。今後も、タイNO.1のカード会社の実現をめざしてまいります。

「ツタヤカード」

「ベルメゾンカード」

マレーシア ACS CREDIT SERVICE(M)SDN.BHD.

地方都市への営業活動の強化とともに、加盟店とのジョイントプロモーションを積極的に実施したことにより、順調に業容を拡大することができました。今後は、マレーシア全土への営業ネットワークを構築し、営業基盤の更なる強化に取り組んでまいります。

台湾 台湾永旺財務服務股份有限公司

2000年1月に設立以来、加盟店の拡大に注力し、家電やパソコンを中心に取扱高は日本円で3億円を超えてまいりました。今後も、いままでの海外事業のノウハウを活かし、事業の拡大に取り組んでまいります。

カード周辺業務の事業化

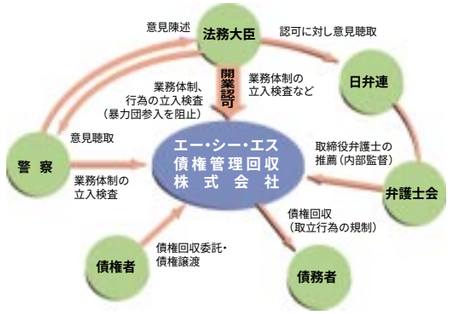
エヌ・シー・エス興産（株）

エヌ・シー・エス興産（株）は、保険商品の規制緩和を受け保険代理店業として急速に業容拡大しております。顧客へのアプローチは、店頭チラシやダイレクトメールに加え、ＣＤ機による申込みやインターネットを利用した自動車保険の比較サイトでの受付など幅広く取り組んでおります。

エー・シー・エス債権管理回収（株）

エー・シー・エス債権管理回収（株）は、1999年11月に設立して以来、回収代行業務を進めてまいりました。通信販売代金、携帯電話料金など小口債権を中心に回収代行業務の受託を拡大しております。今後も、サービサー業界で確固たる地位の確立を目指してまいります。

債権管理回収業に関する特別措置法（サービサー法）の仕組み



日本金融新聞2000年3月10日

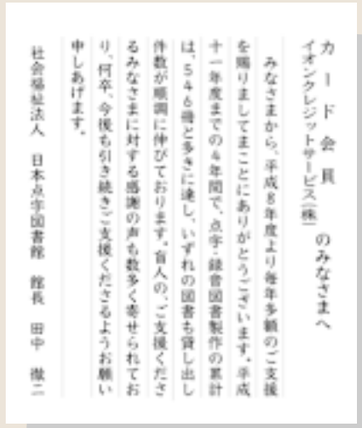
エー・シー・エス・ファイナンス（株）

エー・シー・エス・ファイナンス（株）は、お客さまへのワンストップで各種金融サービスが提供できる店舗ネットワークを、首都圏を中心に拡大しております。また、インターネット上での申し込み受付を利用し即日融資もできる「プチローン」や翌日にお届けするローン専用カード「プチバンクカード」の発行といった顧客ニーズにスピーディーにお応えするサービスの提供に取り組んでおります。

環境保全・社会貢献活動

返金キャンペーンによる寄付活動

カード会員さまの特典としてご利用金額に応じてご返金をしております「ときめきポイントキャンペーン」を活用したチャリティー活動におきましては、多くのカード会員さまの善意を集めることができました。



カード会員
イオンクレジットサービス（株）
のみなさまへ

みなさまから、平成8年度より毎年多額のご支援を賜りましてまことにありがとうございます。平成十一年度までの4年間で、点字・録音図書製作の累計は、5546冊と多きに達し、いずれの図書も貸し出し件数が順調に伸びております。盲人の、ご支援くださるみなさまに対する感謝の声も数多く寄せられており、何卒、今後も引き続きご支援くださるようお願い申しあげます。

社会福祉法人　日本点字図書館　館長　田中　徹二

会員様のご寄付により作成された点字・録音図書

理事長　本間　一夫

館長　田中　徹二

チャリティー活動

日本、香港とも、環境保護団体や児童救済基金、動物愛護協会とのチャリティー機能つきの提携カードを発行し社会貢献活動に取り組んでおります。また、従業員による心身障害者施設へのチャリティー活動として、施設での行事に参加し、毎年、交流をはかっております。

イオングループを通じた活動

イオングループ環境財団を通じた活動として、2000年5月に中華人民共和国北京市と共同で「万里の長城・森の再生プロジェクト」第3回植樹祭を実施いたしました。このプロジェクトは、森林伐採により荒廃した万里の長城周辺に植樹を行うもので、今年で目標の39万本の植樹を達成しました。

また、イオングループ1％クラブを通じ、「環境保全」「国際的な文化・人材交流」「地域の文化・社会の振興」などの活動を支援するために、当社の税引前当期利益の1％を提供しております。

万里の長城　第3回植樹祭

中間財務諸表の概要（連結）

連結損益計算書

（単位：百万円）

経常損益の部	前中間期（1999年2月21日から1999年8月20日まで）	当中間期（2000年2月21日から2000年8月20日まで）	前期（1999年2月21日から2000年2月20日まで）
営業収益	29,893	33,718	62,390
営業費用	23,375	25,211	46,853
営業利益	6,517	8,506	15,536
営業外収益	136	165	186
営業外費用	51	32	210
経常利益	6,602	8,639	15,512
特別損益の部			
特別利益	—	—	75
特別損失	12	—	52
税金等調整前中間（当期）利益	6,590	8,639	15,536
法人税、住民税及び事業税	2,719	3,203	6,552
少数株主利益	629	757	1,383
中間（当期）利益	3,241	4,678	7,600

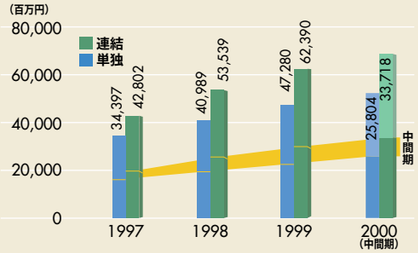
連結貸借対照表

（単位：百万円）

資産の部	前中間期（1999年8月20日現在）	当中間期（2000年8月20日現在）	前期（2000年2月20日現在）
流動資産	258,303	291,673	270,062
固定資産	9,380	11,805	10,592
為替換算調整勘定	548	880	609
資産合計	268,232	304,360	281,263
負債の部			
流動負債	120,750	105,454	118,660
固定負債	90,306	132,744	100,929
負債合計	211,057	238,198	219,589
少数株主持分	4,952	6,131	5,567
資本の部			
資本金	15,466	15,466	15,466
資本準備金	17,046	17,046	17,046
連結剰余金	19,711	27,517	23,594
自己株式	△ 1	△ 1	△ 0
資本合計	52,222	60,029	56,107
負債資本合計	268,232	304,360	281,263

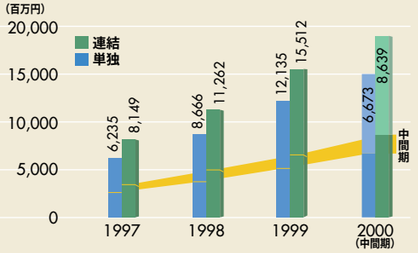
決算データ

営業収益の推移



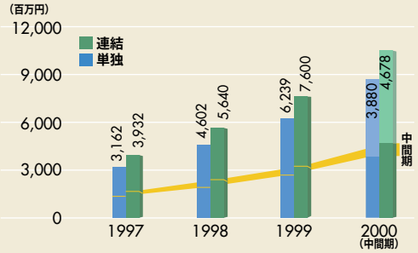
着実な会員拡大と営業ネットワークの拡大に加え、連結各社の業績拡大により、当中間期の営業収益は連結３３７億１８百万円（前年同期比１１２.８％）単独２５８億４百万円（前年同期比１１５.０％）となりました。

経常利益の推移



カード会員へのサービス強化、連結各社の営業強化、技術革新を図る一方、一層のローコストオペレーションの推進の結果、当中間期の経常利益は連結８６億３９百万円（前年同期比１３０.９％）単独６６億７３百万円（前年同期比１３０.３％）となりました。

中間（当期）利益の推移

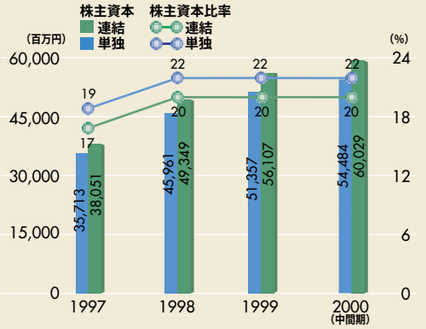


中間利益は連結４６億７８百万円（前年同期比１４４.３％）単独３８億８０百万円（前年同期比１４４.６％）となりました。

配当金

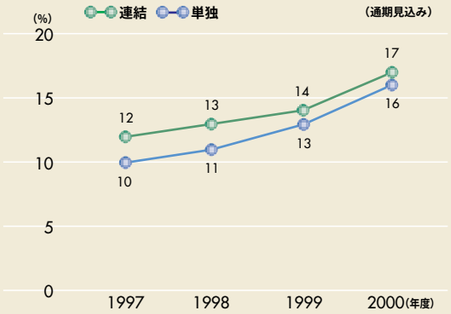
中間配当金は１株につき１５円とさせていただきました。なお、２０００年２月１０日付で１株を２株に分割しておりますので、分割前に換算しますと当期の中間配当金は３０円となり、昨年の中間配当金に比べ実質１０円の増配となります。

株主資本・株主資本比率の推移



利益拡大による内部留保により株主資本は連結６００億２９百万円単独５４４億８４百万円となりました。

株主資本利益率（ROE）の推移



株主資本利益率は通期見込みとして連結１７％、単独１６％と業績拡大にあわせ向上を見込んでおります。今後も、財務体質の強化に努めてまいります。

中間財務諸表の概要（単独）

損益計算書

（単位：百万円）

経常損益の部	前中間期 (1999年2月21日から 1999年8月20日まで)	当中間期 (2000年2月21日から 2000年8月20日まで)	前期 (1999年2月21日から 2000年2月20日まで)
営業収益	22,436	25,804	47,280
営業費用	17,540	19,362	35,369
営業利益	4,895	6,441	11,910
営業外収益	269	268	393
営業外費用	41	37	168
経常利益	5,123	6,673	12,135
特別損益の部			
特別利益	—	—	75
特別損失	3	—	19
税引前中間（当期）利益	5,120	6,673	12,191
法人税、住民税及び事業税	2,437	2,793	5,951
中間（当期）利益	2,682	3,880	6,239
前期繰越利益	2,716	3,774	2,716
中間配当額	—	—	475
中間配当に伴う利益準備金積立額	—	—	47
中間（当期）未処分利益	5,399	7,654	8,432

貸借対照表

（単位：百万円）

資産の部	前中間期 (1999年8月20日現在)	当中間期 (2000年8月20日現在)	前期 (2000年2月20日現在)
流動資産	213,623	238,021	218,353
現金及び預金	7,276	6,564	5,712
割賦売掛金	65,763	64,995	59,591
営業貸付金	140,283	164,905	153,188
その他	4,623	6,914	4,662
貸倒引当金	△4,323	△5,359	△4,802
固定資産	9,514	12,242	10,860
有形固定資産	2,947	3,664	3,510
無形固定資産	149	1,871	91
投資等	6,417	6,706	7,257
資産合計	223,138	250,263	229,213
負債の部			
流動負債	99,075	82,464	97,922
買掛金	22,456	27,957	26,581
短期借入金	49,004	30,843	37,478
コマーシャルペーパー	20,000	15,000	24,000
その他	7,614	8,663	9,862
固定負債	75,786	113,314	79,933
社債	—	10,000	—
長期借入金	75,600	103,130	79,730
その他	186	184	203
負債合計	174,861	195,779	177,856
資本の部			
資本金	15,466	15,466	15,466
資本準備金	17,046	17,046	17,046
利益準備金	2,368	3,216	2,416
剰余金	13,394	18,755	16,427
資本合計	48,276	54,484	51,357
負債及び資本合計	223,138	250,263	229,213

株式の状況

（2000年8月20日現在）

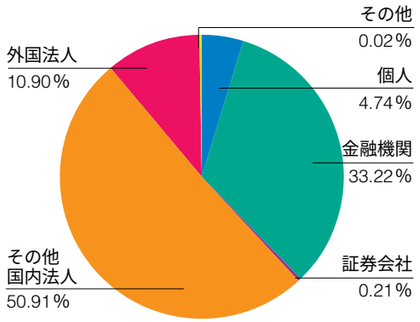
株主数……6,134名
会社が発行する株式の総数……180,000,000株
発行済株式総数……47,565,760株

大株主

株主名	持株数（千株）	持株比率（%）
ジャスコ株式会社	21,042	44.2
住友信託銀行株式会社	1,424	2.9
株式会社第一勧業銀行	1,136	2.3
野村信託銀行株式会社	1,054	2.2
三菱信託銀行株式会社	858	1.8
ﾛﾊﾞｰﾄﾌﾚﾐﾝｸﾞｱﾝﾄﾞｶﾝﾊﾟﾆｰﾘﾐﾃｯﾄﾞ	833	1.7
マックスバリュ西日本株式会社	802	1.6
東洋信託銀行株式会社	774	1.6
第一生命保険相互会社	774	1.6
ミニストップ株式会社	694	1.4

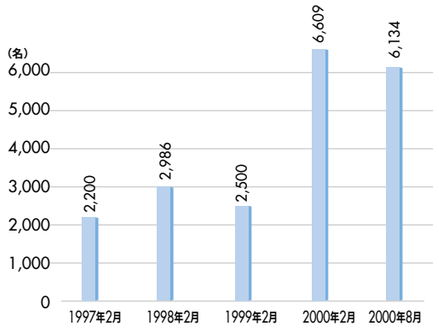
（注）上記の持株数のうち、信託業務にかかわる株式数は次のとおりです。
住友信託銀行株式会社……1,073千株
野村信託銀行株式会社……1,054千株
三菱信託銀行株式会社……623千株
東洋信託銀行株式会社……748千株

所有者別株式の分布



47,565千株

株主数の推移



株式の分割の状況

1995年4月10日付	1：1.1	無償分割
1996年4月10日付	1：1.1	無償分割
1997年4月10日付	1：1.2	無償分割
1998年2月17日付	1：1.2	無償分割
1999年4月8日付	1：1.1	無償分割
2000年2月10日付	1：2	無償分割

会社データ

商号	イオンクレジットサービス株式会社
本店	東京都千代田区神田錦町一丁目１番地
ホームページ	http://www.aeonmarket.com
設立	1981年6月20日
資本金	154億6,650万円
支店・営業所	国内　50カ所 海外　5カ所

取締役および監査役（2000年8月20日現在）

代表取締役会長	浅野和郎
代表取締役社長	森美樹
常務取締役	浅井啓志
常務取締役	斎藤稔
取締役	上山政道
取締役	河田和彦
取締役	小坂昌範
取締役	高山孝一
取締役	近藤安彦
取締役	神谷和秀
常勤監査役	葛西謙
監査役	横井賢
監査役	木村洋一
監査役	秋山栄司

株主メモ

決算期	毎年2月20日
定時株主総会	毎年5月20日までに実施
名義書換代理人	東京都千代田区丸の内一丁目6番2号 みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目6番2号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
（お問い合わせ先 郵便物送付先）	〒135-8722 東京都江東区佐賀一丁目17番7号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 電話（03）3642-4004（大代表）
同取次所	みずほ信託銀行株式会社 全国各支店 安田信託銀行株式会社 本店及び全国各支店
1単位の株式の数	100株
公告掲載新聞	日本経済新聞